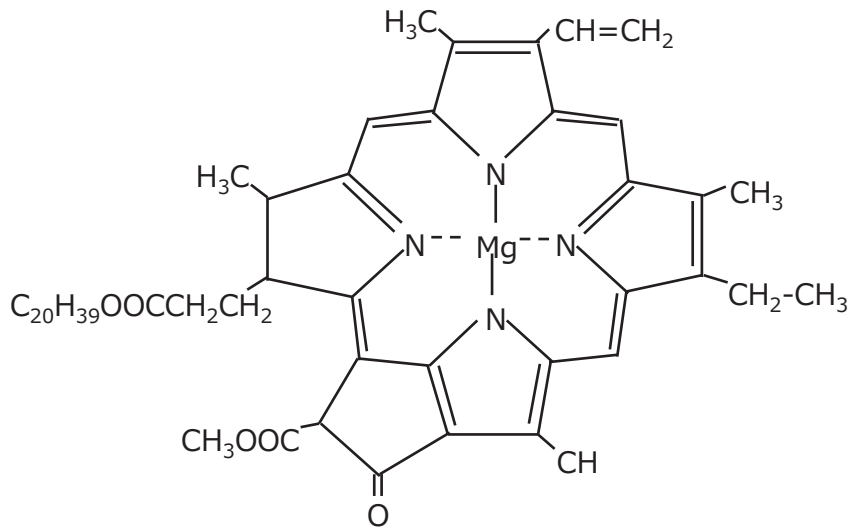


クロロフィルa量の分析

クロロフィルとは植物の葉緑体等に含まれる光合成に関与する緑色色素で、クロロフィルa、b、c等数種類あります。これらのうち、クロロフィルa量は環境水中の藻類の量を示し、水質汚濁の指標として用いられます。

日鉄テクノロジー(株)広畑事業所では、蛍光光度法及び高速液体クロマトグラフによる分析に対応しています。

また、藻類の死滅によりクロロフィルaが分解して生成するフェオフィチンaの分析にも対応可能です。



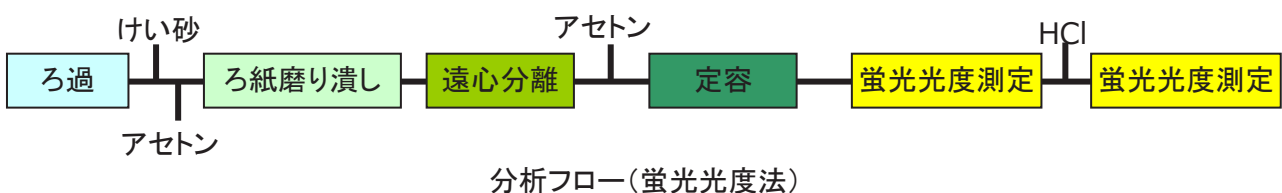
クロロフィルaの構造



蛍光光度計



高速液体クロマトグラフ



分析フロー(蛍光光度法)